



株式会社ローソンとの包括連携協定に基づく主な取り組み

店舗における地域貢献活動

●大雪等災害時における店舗利用

大雪等の災害時には、訪問診療、訪問介護等を行う事業者が要配慮者を訪問する際の駐車場確保が課題となります。令和8年1月の大雪災害時は、県内全域の約103店舗の駐車場を利用させていただきました。反射材の配布や性暴力救済センター・ふくい「ひなぎく」の広報シールの掲示など、引き続き、県民のみなさまの安全・安心な生活の確保にご協力いただきます。

●地域共生コンビニの開設

近年、高齢化や人口の減少などでスーパーが撤退する地域が増え、食料品などの買い物に不便を感じる消費者が増えています。株式会社ローソンは、自治体や地元企業と連携して、そうした買い物困難地域への「地域共生コンビニ」の出店を進めており、令和5年6月には、越前市に北陸地域初の書店併設型店舗「LOWSONマチの本屋さん」をオープンしました。地元スーパーとの連携やコミュニティスペースの併設など、地域課題を解決する様々な地域共生コンビニを全国各地で展開されています。



LAWSONマチの本屋さん
売場イメージ(ローソン越前芝原店)



コミュニティ・ランドリースペース
(ローソン上厚真店)

青少年の健全育成支援

●小中学校における出張授業

同社は、学校における多様な学びを支援するため、全国の小中学校で出張授業を実施しています。コンビニエンスストアのシステム全般やSDGsの取組みの紹介など、子どもにとっても身近なコンビニを通じて、社会や仕事の仕組みを学ぶ授業です。同社では、ご当地フェア「北陸の陣」を毎年実施しており、福井のブランド芋「とみつ金時」を使用したスイーツなどを商品化されています。今後、福井県においても、こうした地域の魅力を発掘するような商品開発の取組みなどをテーマに探求学習の実施に協力を求めています。



小学校での出前授業
(イメージ)



おいものクロワッサン
(とみつ金時芋あん&マーガリン)